

第40回日の里まつり 第5回実行委員会議事録（概要）

平成27年10月24日(土)19:00~20:45

実行委員総数 69人

出席者32人 委任状21人 合計53人 > 46人(2/3)

(1) 開会宣言

伊藤事務局長の司会で開会宣言が行われた後、出席実行委員数が53人（委任状提出委員21人を含む。）で、実行委員総数の2/3以上となり「日の里まつり実行委員会会則」第13条第2項の規定を満たしており、実行委員会が成立する旨報告された。

(2) 議長選出

今川実行委員長が欠席のため、黒川副実行委員長が議長となり協議事項の審議を開始した。（「日の里まつり実行委員会会則」第8条第1号・第9条第2号）

(3) 議 題

●報告事項

第1号 第40回日の里まつり決算報告について

滝口まつり会計から資料1の「第40回日の里まつり決算書」について報告がなされた。

主な質疑と意見は、以下のとおり。

(質問)

今回の決算報告では、協議会からの助成金が予算50万円であるのに、決算では、18万円弱となっている。これは、実行委員会の決議に基づいて処理されていることは理解しているが、仮に赤字になった時は、補填するのか？

(回答)

私見でよろしければ、回答します。そのような場合は、現在190万円を超える繰越金があるのでそれを使えばよいのではと思います。

(意見)

慰労会については、実行委員が69名いるのに24名しか参加していない。金額については、会費2千円で支払いが4,400円程度と慰労会としては、高額と考える。もう少し、実行委員に万遍なくいきわたる方法を考えて欲しい。

(意見)

収入の欄の町内会個人寄付金及び地区内外協賛金の額と協議会助成金の額を比較したときに協議会助成金が少なすぎると外部の人は見るのではないかと。

第2号 第40回日の里まつりの各部会反省と課題について

5部会の報告が、部会長（総務部会は、黒川副部会長）から資料2に基づいてなされた。

主な質疑と意見は、以下のとおり。

（質問）

今回、初めて騒音対策ということで会場を二つに分けて実施したが、実行委員会としてまつりの盛り上がりという観点から見たときに成功したと評価していますか？

（回答）

騒音対策を第一としたために結果として、盛り上がりという点では、欠けていたと思う。

（意見）

今回、会場を分けたために盛り上がりには欠けたという意見があるとするれば、次回は一体となって盛り上げるためにどのようにするのかという検討がなされると思う。教訓として生かしていただきたい。

（意見）

総務部会の反省の中に『今回は、最低のお祭りでした。』という発言があるが、会場や企画推進などのそれぞれの部会の実行委員は、懸命に自分たちの役割を果たそうと努力している。第三者ならまだしも実行委員が、このような発言をすべきではないと思う。

（意見）

各町内の個人の方からの寄付額をみるとまつりに対する期待の高さの表れと感じました。今回のまつりは、騒音対策を第一に考えるということで、2会場に分けての開催となりましたが、町内会の皆さんのこの期待に十分応えきれていないように思いました。この点をもう一度よく考えて頂きたいと思います。

またまつりの騒音の規制というのは、どのくらいの音量となっているのかわかりません。

（回答）

まつりの騒音規制については、明確な数値の規制はありません。先ほどの部会報告で説明しましたように実際に測定した数値は、平均で67db（ただし、太鼓の音を除く。）でした。

（回答）

会場を分けて開催したことに対していろいろと意見があることは、承知している。今後それらの意見を踏まえて見直しを行い、さらに良いものにすることが出来るようにしたい。

(意見)

まつりを二日間実施して良かったと思う。騒音対策も大切だと思うので、音楽だけでなく踊りやコントを行ってはどうか?また、軽音楽などを流すのも良いと思う。それから、40周年記念式典については、名前に相応しい式典らしいものにして欲しかった。今後の節目の際には是非検討して欲しい。

(意見)

露天商の立場でいうとまつりは二日間でお願いしたい。まつりは、夜が大切なので、例えば初日は前夜祭、日曜日が終日というやり方が良いと思う。

(意見)

慰労会の会費が高すぎる。実行委員は、ボランティアで参加しているのだから、会費を半額程度にすべきと思う。会場もコミセンが良いのではないか。

(意見)

最後の議案に関連すると思うが、企画に関して意見が出たので話させていたきたい。今回の企画には、大分若い方も入っていただいて、特に騒音問題について一生懸命対策を考えてもらったが、実行委員会の場で意見を出しても潰されるきらいがあると思う。

過去のことを大切にすることということも分かるが、足の引っ張り合いではなく、みんなで前向きに検討していただけたらと思う。

議論することは大事だと思うので、今後は申し上げたことを踏まえてお願いしたい。

●協議事項

第1号 第4回日の里まつり実行委員会議事録(概要)(案)の承認について

伊藤事務局長から資料3の「第4回日の里まつり実行委員会議事録(案)」について、委員に修正等を求める個所の有無について確認がなされたが、意見がなかったため原案のとおり承認された。

主な質疑と意見は、以下のとおり。

(意見)

欠席した実行委員の立場から、会の資料をHPページに掲載して欲しい。また、議事録については、次の回で承認を受けてからというのではなく、案のままが良いから遅くとも会議後1週間以内に掲載して欲しい。実行委員会では、承認ではなく確認を受けるということで良いのではないか?

(回答)

実行委員の皆さんの承認がいただけるなら、そのようにします。

第2号 今後の日の里まつりの運営について

資料4に基づいて協議がなされた結果、役員会提案のとおり承認された。

主な質疑と意見は、以下のとおり。

(意見)

40回を区切りとして、この際実行委員を新たに選び直してはどうか？今後、50回、60回と先を見据えたときに、30代、40代そして50代の方々を中心に進めていただきたいと思う。そして、これまでの各部会の必要人員を踏まえて、町内会から何名か推薦をお願いするのが良いと思う。今の実行委員の顔ぶれは、ずーと変わっていない。そして、若い人たちが、新しい提案をすると昔からそうならないと潰してしまう。これでは、若手が育たない。

日の里まつりは、神社・仏閣の祭礼ではなく、元々の発端は子供たちに思い出を作らせよう、楽しませようということだった。つまり、日の里まつりは、大きなイベントであると思う。そうであれば、年ごとに内容が変わって良いと思う。

現在の実行委員で、50回を迎えたときに体を動かせる人が何人いるかと思うし、先ほどお話しした世代の人たちに日の里まつりの理念が浸透していないとも思う。だから、子どものためといいながら、子育て世代のお父さんやお母さんの参加がなく世代交代が出来ていない。この世代の方々は、パソコンの技能の優れた方も多く、一度実行委員として参加していただけたら、継続していただくのも難しくないので、是非考慮していただきたい。現在の実行委員は、若い世代から相談を受けたときのアドバイザーに徹したら良いと思う。

(意見)

世代交代の必要性が叫ばれて何年も経つが、具体的な手立ては何もなされてこなかった。これまでは、若い世代の人たちに回覧版を回して、参加してくれと呼びかけたが、これでは、参加してもらえない。また、子ども主体のまつりと位置付けているにも関わらず、PTA等の参加がない。是非この点を考慮して見直しを進めて欲しい。

(意見)

まつり運営のキーマンは、町内会長を始めとする役員だと思う。私の町内は、今年良い人材を得たので、子どもたちの動員が出来た。ほかの町内も同じように参加すると楽しいよと町内会の役員が働きかければ、参加者も増えると思う。

町内会長は、大変だと思うがやる義務があると思う。

(意見)

私の町内では、前任の組長さんがまつりのお手伝いをするという流れがあったが、今はなされていない。そうゆうことも、復活していただきたい。

組長になられた若い方がいらっしゃれば、その方に続けていただくようお願いし、周囲が盛り立てることも大切だと思う。

(意見)

40年前の日の里の65歳以上の人口は、数百人しかいなかった。ところが、今年の3月の高齢者は3,855人で、全体の32%となっている。そしてこれは、毎年増加していく。このことを考えると過去出来ていたことを踏まえて、これからもというのは違うと思う。

私の町内では、組内に20軒ぐらいあっても、組長になることが出来るのは5軒ぐらいしかない。このような状況を把握したうえで、発言して欲しい。

対応できる町内はいいが、出来ない町内もあるので他の町内に求めないで欲しい。

高齢化率で言うと、5年後には38%、10年には44%になるという統計数値がある。このような状況で、どうやってまつりを行っていくかといことを考えなければならない。

(意見)

先ほど、お話のあった前年度の組長さんがお手伝いをするというのは、良い方法だと思う。私の町内では、今年度と次年度の組長さんが手伝うことになっているので、今後はさらに前年度の組長さんにもお願いしようと思う。

同様にまつり実行委員にもそのような意識が生まれると良いと思う。

(意見)

今日は、いい議論が出来たと思う。これまでは、なかなか意見が出てこなかった。まつりの実行委員の大変さは、係わった人しかわからないと思うが、1年やったらこれで終わりというのではなく、是非体の動く間は、いろいろな形で協力をお願いしたい。年齢だけがネックとは思わない。一緒に動く仲間を増やしてベテランは、アドバイスをを行うのが良いと思う。

また、イベントの内容も工夫して余り大きな音の出ないものにすると良いと思う。

(意見)

今回の役員会の提案にあるように40回を区切りとして、若い方にお任せするのが良いと思う。そして、手が足りない時に経験のある方々にお手伝いをお願いするようにしてはどうか？

今回を節目に次回以降は、これまで参加の少ない若い方々を中心に進めていきたい。これまで、まつりに長く携わって来ていただいた方々にはお礼を申し上げます。

私自身も役員を経験してきました。繰り返しになりますが、今の実行委員を解散してここで若い方々に引き継いでいただきたいと思います。いかがでしょうか？

(意見)

この提案では、子育て世代の若い人を中心に見直しをお願いしたいとなっているが、まつりは多くの人が携わってきた歴史がある。コミュニティの役員を務めている人の中には、町内会活動も経験したことがない方が、順番で町内会長になられているケースもある。そういう場合は、町内会活動であれ、まつりであれ、ご苦勞を知られていないことを心配する。

私の意見は、まつりの見直しを若い人にさせていただくなら、まつりの実行委員を経験した若い方をお願いしたい。

だから、私は、まつりに参加した経験のない方が見直しをされることには反対します。

(意見)

若い方々にぶっつけ本番で見直しをお願いするつもりはありません。まつりについての勉強会も行いたいと思います。

(意見)

まつりの役員会でこの提案をまとめるにあたっては、いろいろ話をしました。

今回の提案の主たる目的は、まつりの実行委員として参加されたことのない若い方々に何とでも参加していただきたい。そして、一緒にご苦勞もしていただきたいという思いをお伝えし、どうすれば若い方々が日の里まつりに参加していただけるかを考えていただくことです。

そして、求められれば経験を積んだ方々からアドバイスをいただき、サポートをお願いできればありがたいと思います。

以 上

(文責) 第40回日の里まつり実行委員会事務局 伊藤 仁規
(確認) 第40回日の里まつり実行委員会役員会